

[令和6年3月25日]

花火産業推進プロジェクト



経緯、目的

地域を代表する伝統文化である「大曲の花火」のブランド力を活用し、地域活力の源泉となる産業の創出を目指して平成26年に策定された大仙市花火産業構想により、この10年間でさまざまな事業が実現された。これまでの成果を活用しながら、花火産業がより地域に貢献することができるようなプロジェクトをさまざまな団体において立案し、実行する。

基本コンセプト

「日本の花火」の持続的発展と地域経済の活性化

5年目標(令和6～10年度)

「大曲の花火」100回大会を見据えた
グローバルな花火産業基盤の確立

4つの事業軸

- A：伝統文化としての継承、文化的価値の向上
- B：国際的に認知され、海外からも訪れやすい環境の実現
- C：花火大会をはじめとする花火に関するコンテンツの充実
- D：花火ブランドによる地域経済への波及拡大



参画団体



大仙市



大曲商工会議所



大仙市商工会



大仙市観光物産協会



「大曲の花火」協同組合



株式会社花火創造企業



株式会社TMO大曲

個別事業 事業軸A 伝統文化としての継承、文化的価値の向上

A1 花火企画展示拡充事業：大仙市

花火伝統文化継承資料館における資料収集や企画展示を、これまでよりも質・量ともに充実させ、当地の花火文化をより多くの方に知っていただく。

A2 花火文化体験拡大事業：大曲の花火協同組合

はなび・アム見学、花火工場見学、模擬花火玉づくり体験、プライベート花火打ち上げなどの花火文化体験を広くPRし、個別、団体旅行における利用に繋げる。

A3 花火ふるさと教育事業：大仙市

子どもたちに花火文化を体験する機会を提供し、花火を郷土の文化として認識してもらい、地域の将来の担い手としてのふるさと愛を育む。

A4 「大曲の花火」エンターテインメント事業：TMO大曲

花火を題材としてヒット曲、ドラマを制作または制作の協力をし、最終的には花火を題材とした映画製作へ導き、監修協力を「大曲の花火」が担う。

個別事業 事業軸B 国際的に認知され、海外からも訪れやすい環境の実現

B
1

国際花火競技大会出品事業：「大曲の花火」実行委員会

大仙産の花火玉と地元花火業者の打上技術を世界に披露し、観光客誘致と「大曲の花火」の海外進出の足がかりとする。

B
2

インバウンド観光環境整備事業：「大曲の花火」実行委員会

海外からのチケット購入方法確立、Webサイト多言語化、Wi-Fi整備、職員の外国人対応スキルアップなどによりインバウンド受け入れ環境を整備し、交流人口の増加を図る。

B
3

国際花火シンポジウム誘致事業：「大曲の花火」実行委員会

令和10年をターゲットに大仙市で国際花火シンポジウムを再度、誘致開催することで、世界的な知名度のさらなる向上及び第100回大会記念イヤーの機運を高める。

B
4

「大曲の花火」外国語放送事業：TMO大曲

「大曲の花火」開催時に行っている放送を外国語でも制作し、インターネットで放送することで、外国人客の利便性を高める。

B
5

大仙おもてなし隊養成講座事業：TMO大曲

増加しているインバウンド客に対応するため、英会話や大仙市の地域、文化について学ぶ講座を開催し、オール大仙でのおもてなしを実現する。

個別事業 事業軸C 花火大会をはじめとする花火に関するコンテンツの充実

C
1

第100回記念大会開催事業：「大曲の花火」実行委員会

令和10年の第100回大会を日本最高峰の花火競技大会の節目としてふさわしい大会とし、世界に誇る伝統文化「大曲の花火」の存在感を国内外に示す。

C
2

「大曲の花火」出品業者宿泊施設・大会管理運営施設建設事業：大曲商工会議所
花火師が自ら打ち上げる競技大会である全国花火競技大会の開催を今後も継続し、大会管理運営の集約強化を図るための施設を建設する。

C
3

「大曲の花火」デジタル推進事業：「大曲の花火」実行委員会

デジタル技術を活用し、より多様なターゲットに向けての新たな情報発信や、実際に来訪する方の利便性向上を図る。

C
4

花火おみやげ展開事業：大仙市観光物産協会

これまでにない定番花火お土産品の開発・販売により、当該商品や関連する花火商品の売り上げによる経済効果、PR効果を狙う。

C
5

クルーズ船花火普及事業：大曲の花火協同組合

クルーズ船寄港時の花火観覧について、より多くのツアーにおいてコンテンツとして取り入れられるように、ツアー催行主等へのPRを行う。

個別事業 事業軸D 花火ブランドによる地域経済への波及拡大

D
1

体験型サービス提供事業者整備事業：大仙市商工会

酒蔵や農業体験など、市内に点在する体験型サービスを提供する事業者を結びつけ、統一ツールなどを活用しながら誘客を行うことで、花火大会時等の滞在時間延長に繋げる。

D
2

イベントホームステイ普及事業：大仙市観光物産協会

自宅提供者の拡大や宿泊手続きの改善を行うことにより、「大曲の花火」開催時の宿泊先不足を補い、滞在時間の延長や交流人口の拡大に繋げる。

D
3

はなび・アムを核としたにぎわい創出事業：大仙市

はなび・アムにおいて、市民をはじめ来館者からの要望が多い、飲食やお土産品購入が可能な環境を整えることで、大仙市の玄関口としてのにぎわい創出を図る。

D
4

花火製造工程自動化・省力化事業：花火創造企業

新たな自動化や省力化に繋がる装置を開発・販売し、今後予想される慢性的な人手不足の解消及び装置販売による市内企業収益の拡大を図る。

重要業績評価指標 KPI

各個別事業における目標値とは別に、本プロジェクト全体の成果を測る目安として以下のKPIを設定し、年度ごとの状況把握を行う。

	基準値 (R5年度)		目標値 (R10年度)	
花火関連SNSフォロワー数	31,500 人	▶	45,000 人	※1
外国人市内宿泊者数	2,000 人/年	▶	3,500 人/年	※1
市内花火会社煙火売上額	11.7 億円/年	▶	19.2 億円/年	※1
花火大会周辺エリア 平常時との滞在人口比較	2.3 倍	▶	3.5 倍	※2

※1基準値であるR5年度の値が見込みのため、実績に応じて後日修正

※2大曲の花火（春夏秋）、神岡南外花火大会、協和七夕花火の会場周辺滞在人口